

店舗売上高伸び率ランキング(単体/連結、店舗売上高50億円以上)

順位	社名(主な業態)	前年度比伸び率(%)
1	ベッパーフードサービス(ステーキ)	72.1
2	連 串カツ田中ホールディングス ※(串かつ)	38.7
3	アントワークス(スタミナ丼)	24.5
4	連 ゴリッパ(多業態)	24.1
5	連 アークランドサービスホールディングス(とんかつ)	18.9
6	連 ダイニングイノベーション ※(レストラン)	17.6
7	sublime(居酒屋)	17.0
8	連 DDホールディングス(居酒屋)	15.5
9	ユナイテッド&コレクティブ(居酒屋)	14.9
10	物語コーポレーション(多業態)	14.7
11	ヨシックス(居酒屋)	14.4
12	連 バルニバービ(レストラン・カフェ)	13.9
13	ブロンコビリー(ステーキ)	13.5
14	鳥貴族(居酒屋)	12.6
15	一 蘭(ラーメン)	12.5
16	連 スシローグローバルホールディングス(回転ずし)	11.5
17	連 ファイブグループ(居酒屋)	11.2
17	富士達 ※(焼き肉)	11.2
19	連 ナリコマエンタープライズ(集団給食)	11.1
◇	フレッシュネス(ファストフード)	9.9
◇	LEOC(集団給食)	9.8
21	ゆで太郎システム(そば)	9.2
22	シニアライフクリエイト(宅配)	8.9
23	梅丘寿司の美登利総本店(すし)	8.4
24	北一食品(回転ずし)	8.0
25	元気寿司(回転ずし)	7.4
25	魅力屋(ラーメン)	7.4
27	連 日本マクドナルドホールディングス(ファストフード)	6.9
28	一富士フードサービス(集団給食)	6.5
28	ハチバン(ラーメン)	6.5
30	連 サンパーク(ファミリーレストラン)	6.3
31	連 ゼンショーホールディングス(多業態)	6.2
32	連 ジョイフル ※(ファミリーレストラン)	6.1
32	柿安本店(持ち帰り総菜)	6.1
◇	かつや(とんかつ)	6.0
34	喜代村(すし)	5.9
35	ワン・ダイニング(焼き肉)	5.8
35	ロイヤル空港高速フードサービス(多業態)	5.8
35	エスワイフード(居酒屋)	5.8
35	さわやか(ステーキ・ハンバーグ)	5.8
39	叙々苑(焼き肉)	5.7
39	丸千代山岡家(ラーメン)	5.7
41	ぎょうざの満洲(餃子)	5.4
42	太陽エンタープライズ(多業態)	5.3
42	理想実業(ラーメン)	5.3
44	くら寿司 ※(回転ずし)	5.2
45	はなまる(うどん)	5.1
45	ハ ブ(英国風パブ)	5.1
47	人形町今半(すき焼き・しゃぶしゃぶ・日本料理)	4.9
48	連 フードプラス・ホールディングス(ファミリーレストラン)	4.8
48	フクナガ(とんかつ)	4.8
50	連 松屋フーズホールディングス ※(牛丼)	4.6
50	連 幸楽苑ホールディングス(ラーメン)	4.6

(注)「連」は連結ベース、◇・※は2面の「表の見方」を参照

飲食業 18年度ランキング

日経MJは第45回(2018年度)の飲食業調査をまとめた。高コスト時代、価格と客数のバランスに各社が苦慮する中で、ちょっとお高い業態が店舗売上高で堅調な伸び率を示した。消費者の厳しい「コスバ感覚」に応える個性やボリューム感が人気を呼ぶ。値上げ時代にも負けないお値段以上の納得感を生み出す飲食店の躍進を追った。

(店舗売上高ランキングの表と関連記事を2~5面に)

ランチで客単価1500円



従来の客単価1500円を上回る商品の展開を強化している(左から原社長と洪副社長)

「衣を纏(まと)ったステーキカツ 60秒で揚がります」。大きな看板がシンボルの「京都勝た牛」。繁華街にオフィスビルが入り交じる東京・渋谷の店舗には日中から

「京都勝牛」ゴリッパ

多くのビジネススマンが「衣を取り込んでいる。料亭を意識した木目をベースにした内装の店舗で、板前姿の店員がカツを注ぎ、油に通す。「牛」を注ぎ、別1280円を注文すると5分強で膳が届く。

映える牛カツ60秒

ちよい高でも勝つ

調査の概要

(2018年度、総計。カッコ内は17年度と比べ、▲はマイナス)

店舗売上高(回答317社)	7兆9194億円(▲2.9)
上位100社の店舗売上高	6兆9133億円(▲3.7)
営業利益額(単体・連結、回答159社)	2388億円(▲4.8)
店舗数(回答303社)	9万3225店(▲1.2)

2018年度の回答企業317社の店舗売上高は17年度比2.9%増の7兆9194億円で、8年連続で前年度比プラスだった。新規出店は鈍ったが、大手チェーンの既存店の伸びが全体をけん引した。伸び率はこの10年で3番目の高さ。店舗売上高の首位は日本マクドナルドホールディングス。業態別に見ると回転ずし(5.7%)やファストフード(4.3%)が伸びた。一方で営業利益額は4.8%減と、14年度以来4年ぶりに減少となった。

売上高、8年連続でプラス